

学習課題(小学校3年生)

【社会】



<学習内容>「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」

◆どうぐとくらしのうつりかわりについて、教科書^{きょうかしょ}136～137 ページや地図帳^{ちずちょう}、学校で使っている資料^{しりょう}などを参考^{さんこう}にして取り組みましょう。

(1) 道具とくらしのうつりかわりについて、下の表の()にあてはまる言葉を からえらび、書きこみましょう。

	100 年前	70～60 年前	50～40 年前	今
あたためる 道具	(①) 火を自分でおこしてまきをくべて使う。	(②) 手前のコックを開き、マッチで火をつける。	ガステーブル マッチをつけずに火をつけることができる。	IH 電気台 ボタンをおし、電気であたたかくなる。
ごはんを たく道具	(③) あつい鉄でできている。かまどの上のせて使う。		電気がま 電気でごはんをたき、自動でごはんがたきあがる。	すいはんき ボタンひとつでごはんをたいたり、あたたかさをたもったりできる。
せんたく する道具		(④) みぞにこすりつけて、よこれを落とす。	ローラー式のせんたくき 電気式。せんたくがおわると、横のローラーでしばってほす。	かんそうきつきせんたくき スイッチをおすだけで、せんたくからかんそうまでできる。
札幌市の できごと	(⑤)や路面電車ができた。	雪まつりが開かれるようになった。	札幌で冬の(⑥)大会が開かれた。	よさこいソーランまつりがさかんになる。

オリンピック 新かん線 せんたく板 おかま かまど ガスコンロ 鉄道 たらい

(2) 「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」の学習をふり返り、【やってみよう】にちょうせんしましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・昔の道具の移り変わりについて調べたり、インタビューをしたりすることを通して、わたしたちの暮らしが便利になっていったことを学びます。御家庭にある昔の生活道具があれば、ぜひ見せてあげてください。学習への興味・関心が高まり、理解も深まります。

【やってみよう】◆「市の様子と人々の暮らしのうつりかわり」についての学習をふり返りましょう。

札幌市は、いつごろ、どのようにかわってきたのだろう？

市のうつりかわり

【鉄道や道路】

・どんどん
いる

【人口】

・お店や工場もふえ、

人口も

【公共しせつ】

・人口がふえ、公共しせつも
ふえた



鉄道や道路が広がり、人口もふえ、どんどんまちが大きくなっ
ていった。もかわり、人々の生活も大きくかわった。

これからの札幌市はどのようになっていくのだろう？

道具のうつりかわり

【料理】

・かまど→IH電気台

【せんたく】

・せんたく板

→かんそうきつき

せんたくき

くらしが

になった

①上の黒板の図の中の()にあてはまる言葉を右の から
えらんで書きましょう

広がって へった ふえた
べんり 道具 大きく

②「市の様子と人々の暮らしのうつりかわり」の学習をふり返って考えたことを書きましょう。
